

じゆ 受	けん 検	ばん 番	ごう 号	し 氏	めい 名

2電一次(前)

令和4年度(前期)

2級電気工事施工管理技術検定

第一次検定問題

[注意事項]

- ページ数は、表紙を入れて27ページです。
- 試験時間は、10時15分から12時45分までです。
- 解答は、次によってください。
 - [No. 1]から[No. 12]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。
 - [No. 13]から[No. 31]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。
 - [No. 32]から[No. 37]までは、6問題のうちから3問題を選択し、解答してください。
 - [No. 38]から[No. 42]までの5問題は、全問解答してください。
 - [No. 43]から[No. 52]までは、10問題のうちから6問題を選択し、解答してください。
 - [No. 53]から[No. 64]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。
- 選択問題の解答数が指定数を超えた場合は、減点となります。
- 問題は、四肢択一式又は五肢択一式です。正解とと思う肢の番号を、塗りつぶしてください。
- 解答は、別の解答用紙に、HBの芯を用いたシャープペンシル又はHBの鉛筆で記入してください。それ以外のボールペン・サインペン・色鉛筆などを使用した場合は、採点されません。
- マークを訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。消しかたが十分でないと指定数を超えた解答となり、減点となります。
- 解答用紙は、雑書きをしたり、汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この問題用紙の余白を、計算などに使用することは自由です。
- 漢字に付したふりがなは補足であり、異なる読み方の場合があります。
- この問題用紙は、試験終了時刻まで在席した方のうち、希望者は持ち帰ることができます。途中退席者や希望しない方の問題用紙は回収します。

※ 問題番号 [No. 1] から [No.12] までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 1] 図 A の合成静電容量を C_A [F]、図 B の合成静電容量を C_B [F] とするとき、 $\frac{C_A}{C_B}$ の値として、正しいものはどれか。

1. $\frac{3}{16}$
2. $\frac{1}{4}$
3. 4
4. $\frac{16}{3}$

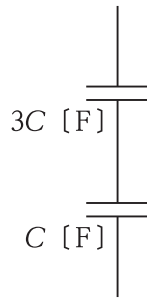


図 A

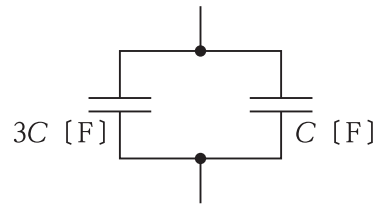
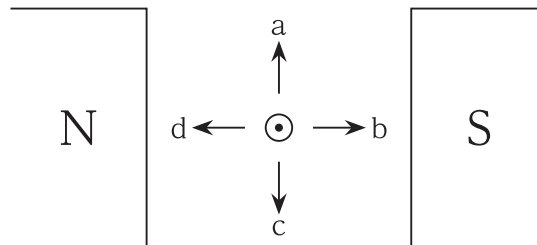


図 B

[No. 2] 図に示す磁極間に置いた導体に電流を流したとき、導体に働く力の方向として、正しいものはどれか。

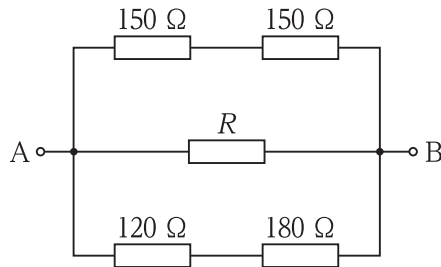
ただし、電流は紙面の裏から表へと向かう方向に流れるものとする。



1. a
2. b
3. c
4. d

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 12] までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 3] 図に示す回路において、A-B 間の合成抵抗値が 100Ω であるとき、抵抗 R の値として、正しいものはどれか。



1. 150Ω
2. 200Ω
3. 300Ω
4. 450Ω

[No. 4] 内部抵抗 $10 \text{ k}\Omega$ 、最大目盛 30 V の永久磁石可動コイル形電圧計を使用し、最大電圧 300 V まで測定するための倍率器の抵抗値として、正しいものはどれか。

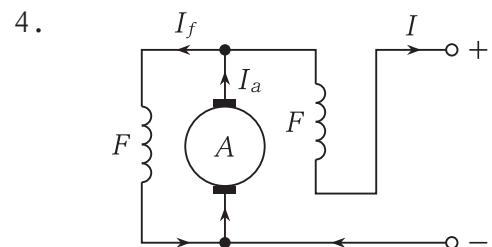
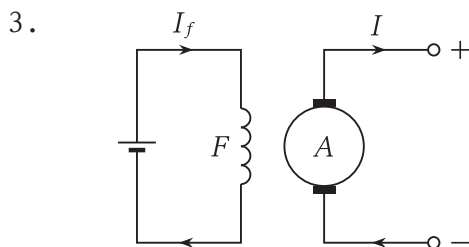
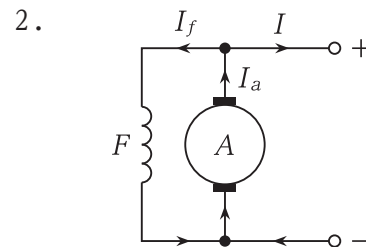
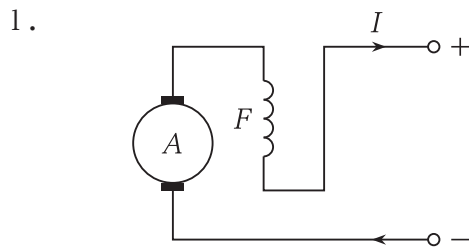
1. $10 \text{ k}\Omega$
2. $90 \text{ k}\Omega$
3. $100 \text{ k}\Omega$
4. $900 \text{ k}\Omega$

※ 問題番号 [No. 1] から [No.12] までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 5] 図に示す直 流 発 電 機 の 界 磁 巻 線 の 接 続 方 法 の うち、直 巻 発 電 機 の 接 続 図 と して、適 当 な も の は ど れ か。

ただし、各記号は次のとおりとする。

A：電機子 F：界磁巻線
 I：負荷電流 I_a ：電機子電流 I_f ：界磁電流



[No. 6] 変圧器油に要求される特性として、不 適 当 な も の は ど れ か。

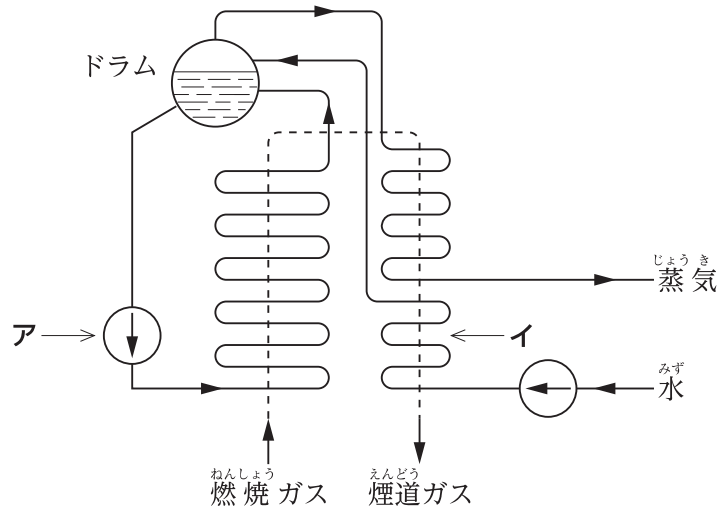
1. 絶縁耐力が大きいこと。
2. 冷却作用が大きいこと。
3. 凝固点が低いこと。
4. 引火点が低いこと。

[No. 7] 進相コンデンサと接続して使用する直列リアクトルに関する記述として、不 適 当 な も の は ど れ か。

1. 高調波電流による障害を防止する。
2. コンデンサ開放時の残留電荷を放電する。
3. 電圧波形のひずみを軽減する。
4. コンデンサ回路投入時の突入電流を抑制する。

※ 問題番号 [No. 1] から [No. 12] までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 8] 図に示す汽力発電の強制循環ボイラにおいて、アとイの名称の組合せとして、適切なものはどれか。



- | | ア | イ |
|----|-------|-----|
| 1. | 給水ポンプ | 再熱器 |
| 2. | 給水ポンプ | 節炭器 |
| 3. | 循環ポンプ | 再熱器 |
| 4. | 循環ポンプ | 節炭器 |

[No. 9] 変電所において、電力用コンデンサを系統に並列に接続する目的として、不適当なものはどれか。

1. 電圧変動の軽減
2. 送電容量の増加
3. 送電損失の軽減
4. 短絡容量の軽減

※ 問題番号 [No. 1] から [No.12] までは、12 問題のうちから 8 問題を選択し、解答してください。

[No. 10] 低圧配電系統における電気方式において、単相 2 線式と比較した三相 3 線式の特徴として、最も不適当なものはどれか。

ただし、線間電圧、力率及び送電距離は同一とし、材質と太さが同じ電線を用いるものとする。

1. 電線 1 線あたりの送電電力は大きくなる。
2. 送電電力が等しい場合には、送電損失が大きくなる。
3. 回転磁界が容易に得られ、電動機の使用に適している。
4. 三相分を合計した送電電力の瞬時値が一定で脈動しない。

[No. 11] 照明に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 輝度は、ある波長の放射エネルギーが、人の目に光としてどれだけ感じられるかを表すものである。
2. 照度は、受光面の単位面積当たりに入射する光束の大ききで表される。
3. 色温度は、光源と色度が等しい放射を発生する黒体の温度を表したものである。
4. LED の発光は、エレクトロルミネセンスを利用している。

[No. 12] 電気加熱方式に関する次の記述に該当する用語として、適当なものはどれか。

「平行平板電極間に被加熱物を置いて、この電極間に作られる高周波電界によって加熱する方式」

1. 誘電加熱
2. 誘導加熱
3. プラズマ加熱
4. アーク加熱

※ 問題番号 [No.13]から[No.31]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 13] 水力発電に用いられる水車において、水車形式と動作原理による分類の組合せとして、
不適当なものはどれか。

	水車形式	動作原理による分類
1.	ペルトン水車	衝動水車
2.	カプラン水車	衝動水車
3.	プロペラ水車	反動水車
4.	フランシス水車	反動水車

[No. 14] 屋外変電所の雷害対策に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 過電圧継電器を設置する。
2. 屋外鉄構の上部に、架空地線を設ける。
3. 避雷器の接地は、A種接地工事とする。
4. 避雷器を架空電線の電路の引込口及び引出口に設ける。

[No. 15] 変電設備において、無効電力の調整を行うための機器として、最も不適当なものは
どれか。

1. 分路リアクトル
2. 電力用コンデンサ
3. 同期調相機
4. 中性点接地装置

※ 問題番号 [No.13]から[No.31]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 16] 架空送電線における支持点間の電線のたるみの近似値 D [m] を求める式として、

正しいものはどれか。

ただし、各記号は次のとおりとし、電線支持点の高低差はないものとする。

S : 径間 [m]

T : 最低点の電線の水平張力 [N]

W : 電線の単位長さ当たりの重量 [N/m]

1. $D = \frac{W S^2}{3 T}$ [m]

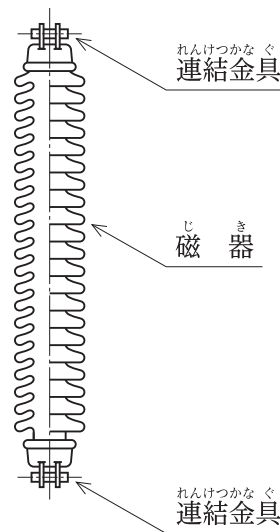
2. $D = \frac{W S}{3 T^2}$ [m]

3. $D = \frac{W S^2}{8 T}$ [m]

4. $D = \frac{W S}{8 T^2}$ [m]

[No. 17] 図に示すがいしの名称として、適当なものはどれか。

1. 懸垂がいし
2. 長幹がいし
3. 高圧ピンがいし
4. 耐霧がいし



※ 問題番号 [No.13]から[No.31]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 18] 送電線路の線路定数に関する次の記述において、 に当てはまる語句として、**適当なもの**はどれか。

「送電線路は、抵抗、インダクタンス、, 漏れコンダクタンスの4つの定数をもつ連続した電気回路とみなすことができる。」

1. アドミタンス
2. サセプタンス
3. 静電容量
4. 零相電流

[No. 19] 次の機器のうち、一般に配電線に電圧フリッカを発生させる機器として、**不適当なもの**はどれか。

1. 蛍光灯
2. 溶接機
3. アーク炉
4. 圧延機

[No. 20] 配電系統の電圧調整に関する記述として、**最も不適当なもの**はどれか。

1. ステップ式自動電圧調整器による線路電圧の調整
2. 負荷時タップ切換変圧器による変電所の送り出し電圧の調整
3. 直列抵抗器を用いた電流の調整による電圧の調整
4. 静止形無効電力補償装置を用いることによる電圧の調整

※ 問題番号 [No.13]から[No.31]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 21] 事務所の室等のうち、「日本産業規格(JIS)」の照明設計基準上、基準面における維持照度の推奨値が最も高いものはどれか。

1. 食堂
2. 事務室
3. 集中監視室
4. 電子計算機室

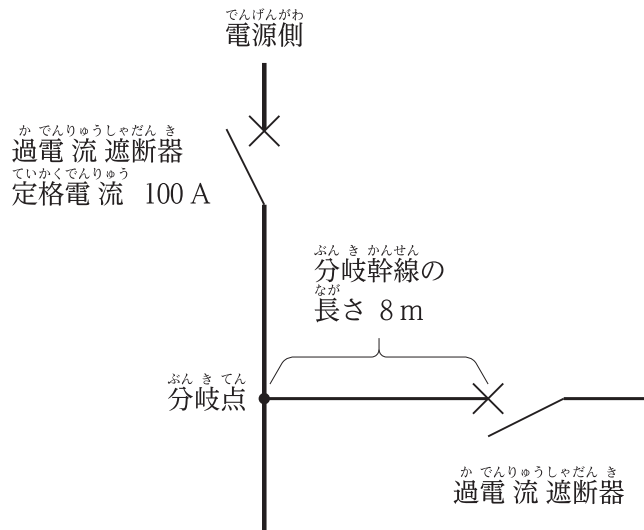
[No. 22] 三相200Vの電動機の電路に施設する手元開閉器に関する記述として、「内線規程」上、不適当なものはどれか。

ただし、電路の対地電圧は、200Vとする。

1. 専用の分岐回路から供給され、フロートスイッチにより自動的に操作される場合は、手元開閉器を省略できる。
2. 手元開閉器は、充電部を露出せず、ハンドルなどにより外部から操作できる構造であること。
3. 配線用遮断器は、手元開閉器として使用することができる。
4. カバー付きナイフスイッチは、手元開閉器として使用することができる。

※ 問題番号 [No.13]から[No.31]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 23] 図に示す定格電流 100 A の過電流遮断器で保護された低圧屋内幹線との分岐点から、分岐幹線の長さが 8 m の箇所に過電流遮断器を設ける場合、分岐幹線の許容電流の最小値として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、正しいものはどれか。



1. 35 A
2. 45 A
3. 55 A
4. 65 A

[No. 24] 高压受電設備に使用する断路器に関する記述として、「高压受電設備規程」上、最も不適当なものはどれか。

ただし、切替断路器を除くものとする。

1. 断路器は、負荷電流が通じているときは開路できないようにする。
2. ブレード(断路器)は、開路した場合に電源側になるように施設する。
3. 開路状態において自然に閉路するおそれがないように施設する。
4. 縦に取り付ける場合は、接触子(刃受)を上側とする。

※ 問題番号 [No.13]から[No.31]までは、19問題のうちから10問題を選択し、解答してください。

[No. 25] 据置鉛蓄電池に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. 極板の種類により、クラッド式とペースト式に分類される。
2. 単電池の公称電圧は、2Vである。
3. 放電すると、電解液の比重は上がる。
4. 触媒栓は、充電時に発生するガスを水に戻す機能がある。

[No. 26] 構内電線路に関する記述として、「電気設備の技術基準とその解釈」上、不適当なものはどれか。

1. 地中電線路を管路式で施設する場合、電線にCVケーブルを使用した。
2. 暗きょ式で施設した地中電線に耐燃措置を施した。
3. 架空電線路において低圧ケーブルを使用する場合は、そのケーブルをハンガーによりちょう架空線に支持した。
4. 低圧架空電線と高圧架空電線を同一支持物に施設する場合、高圧架空電線を低圧架空電線の下に施設した。

[No. 27] 自動火災報知設備において、地区音響装置の設置に関する記述として、「消防法」上、誤っているものはどれか。

1. 地区音響装置は、一の防火対象物に2以上の受信機が設けられているときは、いずれの受信機からも鳴動させること。
2. 地区音響装置の主要部の外箱の材料は、不燃性又は難燃性のものとする。
3. 音響により警報を発する地区音響装置の公称音圧は、90dB以上とすること。
4. 受信機と地区音響装置間の配線は、警報用ポリエチレン絶縁ケーブル(AE)とすること。

※ 問題番号 [No.13]から[No.31]までは、19 問題のうちから 10 問題を選択し、解答してください。

[No. 28] 防火対象物に設置する非常ベルに関する記述として、「消防法」上、誤っているものはどれか。

ただし、防火対象物には自動火災報知設備が設置されていないものとする。

1. 非常ベルは、避難設備である。
2. 非常ベルの設置は、防火対象物の区分と収容人員により決められる。
3. 非常ベルには、非常電源を附置しなければならない。
4. 非常ベルの起動装置の直近の箇所に、赤色の表示灯を設けなければならない。

[No. 29] 光ファイバ通信の特徴に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. メタルケーブルに比べ伝送損失が少ない。
2. メタルケーブルに比べ伝送帯域が広い。
3. 光ファイバは電磁誘導の影響を受けやすい。
4. 光ファイバは細く軽量である。

[No. 30] 国内における電車線の標準電圧として、不適当なものはどれか。

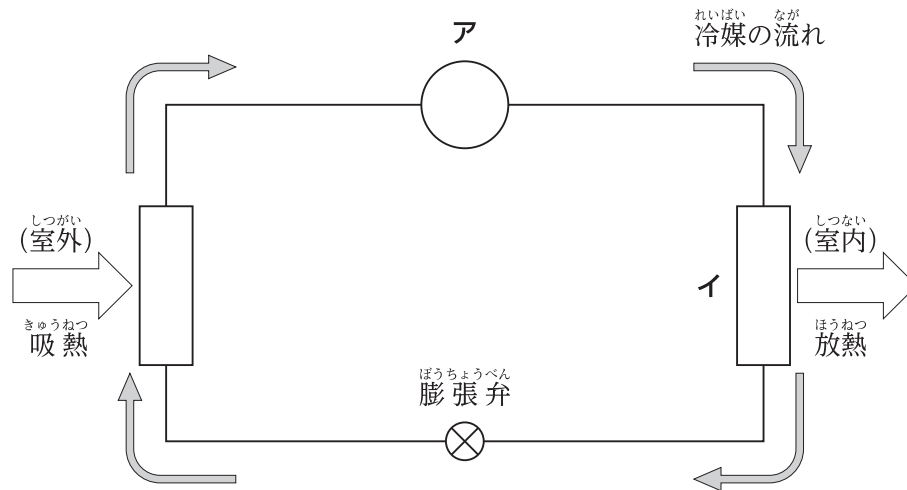
1. 直流 1 000 V
2. 直流 1 500 V
3. 交流 20 000 V
4. 交流 25 000 V

[No. 31] 道路照明における連続照明の設計要件に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 道路条件に応じ十分な路面輝度にすること。
2. 路面の輝度分布をできるだけ均一とすること。
3. 照明からのグレアが十分抑制されていること。
4. 曲線部では誘導効果を確保するため千鳥配列とすること。

※ 問題番号 [No.32]から[No.37]までは、6問題のうちから3問題を選択し、解答してください。

[No. 32] 図に示す建物の空調で使用されるヒートポンプの原理図において、ア及びイの名称の組合せとして、**適当なものはどれか。**



- | | ア | イ |
|----|-----|-----|
| 1. | 送風機 | 凝縮器 |
| 2. | 送風機 | 蒸発器 |
| 3. | 圧縮機 | 凝縮器 |
| 4. | 圧縮機 | 蒸発器 |

[No. 33] 盛土工事における土の締固めに関する記述として、**不適当なものはどれか。**

1. 透水性を増加させる。
2. せん断強度を大きくする。
3. 荷重に対する土の支持力を増加させる。
4. 水の浸入による軟化・膨張を防止する。

※ 問題番号 [No.32]から[No.37]までは、6問題のうちから3問題を選択し、解答してください。

[No. 34] 土木作業において、締固め作業で使用する建設機械として、最も不適当なものはどれか。

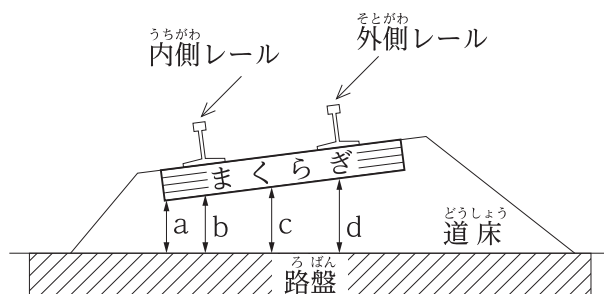
1. ロードローラ
2. スクレーパ
3. ランマ
4. 振動コンパクタ

[No. 35] 架空送電線の鉄塔の組立工法として、不適当なものはどれか。

1. 台棒工法
2. 相取り工法
3. 移動式クレーン工法
4. クライミングクレーン工法

[No. 36] 図は鉄道の曲線区間における軌道構造の断面を示したものである。道床厚を示すものとして、適当なものはどれか。

1. a
2. b
3. c
4. d



※ 問題番号 [No.32]から[No.37]までは、6問題のうちから3問題を選択し、解答してください。

[No. 37] コンクリート工事における施工の不具合として、関係のないものはどれか。

1. 豆板(ジャンカ)
2. 空洞
3. オーバーラップ
4. コールドジョイント

※ 問題番号 [No.38]から[No.42]までの5問題は、全問解答してください。

[No. 38] 配電盤・制御盤・制御機器の文字記号「ELCB」を示す制御機器の用語として、「日本電機工業会規格(JEM)」上、正しいものはどれか。

1. 配線用遮断器
2. 磁気遮断器
3. 漏電遮断器
4. 電磁接触器

[No. 39] 大型機器の屋上への搬入計画を立案する場合の確認事項として、最も関係のないものはどれか。

1. 搬入順序
2. 搬入経路
3. 搬入揚重機の作業に必要な資格
4. 搬入機器の試験成績書
5. 搬入揚重機の選定

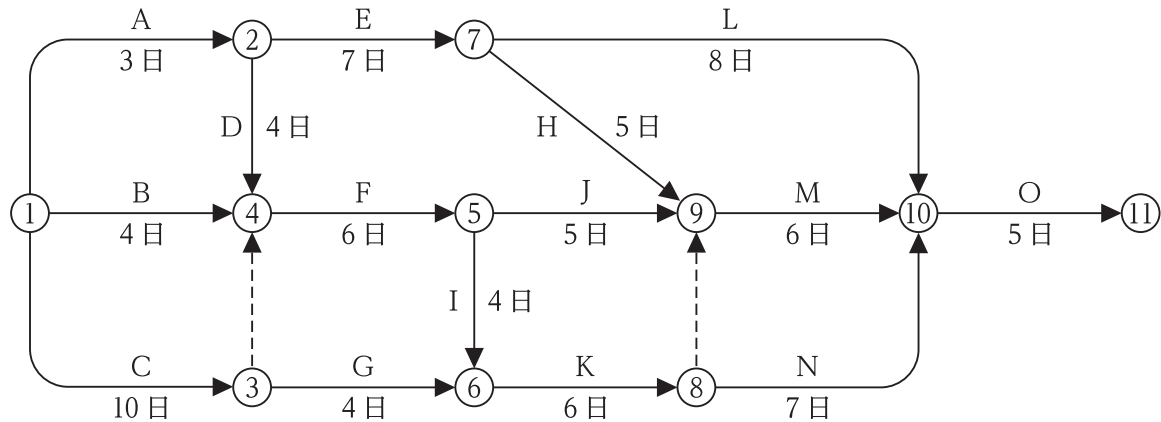
[No. 40] 建設工事において工程管理を行う場合、ネットワーク工程表と比較したタクト工程表の特徴に基づく工程表の選定に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 工程表の作成及び管理が容易なタクト工程表を採用した。
2. 工事工程の遅れなどによる変化への対応が容易なタクト工程表を採用した。
3. 工事全体の稼働人員を把握する場合は、タクト工程表は採用しにくい。
4. 階層別に現状の作業工程を把握しやすくするため、タクト工程表を採用した。
5. 全工程のクリティカルパスを把握する場合は、タクト工程表は採用しにくい。

※ 問題番号 [No.38]から[No.42]までの5問題は、全問解答してください。

[No. 41] 図に示すネットワーク工程表において、イベント⑨の最早開始時刻として、正しいものはどれか。

ただし、○内の数字はイベント番号、アルファベットは作業名、日数は所要日数を示す。



1. 15日
2. 18日
3. 20日
4. 26日
5. 37日

[No. 42] 品質管理活動における次の(ア)～(エ)の作業内容について、品質管理のPDCA(Plan, Do, Check, Action)の手順として、**適当なもの**はどれか。

- (ア) 不具合が出たら、原因を調べて処置する。
- (イ) 標準どおりに作業を実施する。
- (ウ) 品質を測定・試験し、結果を基準と比較し、確認する。
- (エ) 品質の会社方針を決め、品質の仕様を決定する。

1. (イ) → (ウ) → (ア) → (エ)
2. (エ) → (ア) → (イ) → (ウ)
3. (イ) → (エ) → (ア) → (ウ)
4. (エ) → (イ) → (ウ) → (ア)
5. (イ) → (ア) → (ウ) → (エ)

※ 問題番号 [No.43]から[No.52]までは、10問題のうちから6問題を選択し、解答してください。

[No. 43] 施工計画の策定にあたり、契約内容を確認するために必要な事項として、最も関係のないものはどれか。

1. 工事請負契約書の確認
2. 下請負人の経営内容の確認
3. 現場説明書の確認
4. 設計図の検討

[No. 44] 工程管理に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 作業の所要日数は、全工事量を1日当たりの平均施工量で割ったものである。
2. 作業可能日数は、実際に作業が可能な日数のことで、天候などの自然条件、正月・盆などの社会的な条件を考慮して定める。
3. 進捗度曲線を用いて、施工速度と工事原価の関係を管理する。
4. クリティカルパス上の作業は、重点管理する必要がある。

[No. 45] 電気工事の試験や測定に使用する機器とその使用目的の組合せとして、最も不適当なものはどれか。

- | 機器 | 使用目的 |
|-------------|--------------|
| 1. 回路計(テスタ) | 低圧回路の電圧値の測定 |
| 2. 検電器 | 高圧回路の電圧値の測定 |
| 3. 検相器 | 三相動力回路の相順の確認 |
| 4. 絶縁抵抗計 | 回路の絶縁状態の確認 |

※ 問題番号 [No.43]から[No.52]までは、10問題のうちから6問題を選択し、解答してください。

[No. 46] 要求性能墜落制止用器具等の取付設備等に関する次の記述において、 に当てはまる語句として、「労働安全衛生法」上、正しいものはどれか。

「事業者は、高さが以上の箇所で作業を行う場合において、労働者に要求性能墜落制止用器具等を使用させるときは、要求性能墜落制止用器具等を安全に取り付けるための設備等を設けなければならない。」

1. 1.5 m
2. 1.8 m
3. 2.0 m
4. 2.5 m

[No. 47] 作業主任者を選任すべき作業として、「労働安全衛生法」上、定められていないものはどれか。

1. 土止め支保工の切りばりの取付け作業
2. アセチレン溶接装置を用いて行う金属の溶接作業
3. 酸素欠乏危険場所における作業
4. 高压活線近接作業

[No. 48] 変電所の施工に関する記述として、最も不適当なものはどれか。

1. 大型機器を基礎に固定する際に、埋込アンカより強度が大きい箱抜きアンカを使用した。
2. 遮断器の据付作業は、架線工事などの上部作業の終了後に行った。
3. 大きいサイズの電線端子を圧縮するので、コンパウンドを充てんした。
4. 機器を据え付けたのち、制御用ケーブルなどの接続工事を実施した。

※ 問題番号 [No.43]から[No.52]までは、10問題のうちから6問題を選択し、解答してください。

[No. 49] 架空送電線の延線工事の工法として、不適当なものはどれか。

1. 推進工法
2. 引抜工法
3. 吊金工法
4. 搬送工法

[No. 50] 金属管配線に関する記述として、「内線規程」上、不適当なものはどれか。

1. アウトレットボックス間の金属管に、直角の屈曲を4箇所設けた。
2. 水気のある場所に施設する金属管配線に、絶縁電線を使用した。
3. 金属管の太さが31 mmの管の内側の曲げ半径を、管内径の6倍とした。
4. 強電流回路の電線と弱電流回路の電線を同一ボックスに収めるので、金属製の隔壁を施設し、その隔壁にC種接地工事を施した。

[No. 51] 電気鉄道におけるパンタグラフの離線防止対策に関する記述として、不適当なものはどれか。

1. トロリ線の張力を下げる。
2. トロリ線の硬点を少なくする。
3. トロリ線の勾配変化を少なくする。
4. トロリ線の架線金具を軽くする。

※ 問題番号 [No.43]から[No.52]までは、10 問題のうちから 6 問題を選択し、解答してください。

[No. 52] 有線電気通信設備の線路に関する記述として、「有線電気通信法」上、誤っているものはどれか。

ただし、光ファイバは除くものとする。

1. 通信回線の線路の電圧を 100 V 以下とした。
2. 架空電線と他人の建造物との離隔距離を 40 cm とした。
3. 電柱の昇降に使用するねじ込み式の足場金具を、地表上 1.8 m 以上の高さとした。
4. 屋内電線と大地間の絶縁抵抗を直流 100 V の電圧で測定した結果、0.4 MΩであったので良好とした。

※ 問題番号 [No.53]から[No.64]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。

[No. 53] 建設業の許可を受けた建設業者が、現場に置く主任技術者等に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者は、電気工事の主任技術者になることができる。
2. 共同住宅の電気工事を、発注者から直接3500万円で請け負った場合に置く主任技術者は、工事現場ごとに、専任の者でなければならない。
3. 発注者から直接請け負った電気工事を施工する場合、他の建設業者と下請け契約を締結し、その下請代金の額の総額が4000万円のときに置く技術者は、主任技術者でなければならない。
4. 主任技術者は、当該建設工事の施工計画の作成、工程管理、品質その他技術上の管理及び当該建設工事の施工に従事する者の技術上の指導監督の職務を誠実に履行しなければならない。

[No. 54] 建設業の用語に関する記述として、「建設業法」上、誤っているものはどれか。

1. 建設業者とは、建設業の許可を受けて建設業を営む者をいう。
2. 下請契約とは、建設工事を他の者から請け負った建設業を営む者と他の建設業を営む者の間で当該建設工事について締結される請負契約をいう。
3. 発注者とは、下請契約における注文者で、建設業者である者をいう。
4. 建設業とは、元請、下請その他いかなる名義をもってするかを問わず、建設工事の完成を請け負う営業をいう。

[No. 55] 電気工作物に関する記述として、「電気事業法」上、誤っているものはどれか。

1. 電気工作物は、一般用電気工作物と事業用電気工作物に分けられる。
2. 高圧で受電する需要設備は、一般用電気工作物である。
3. 火力発電のために設置する蒸気タービンは、電気工作物である。
4. 水力発電のために設置するダムは、電気工作物である。

※ 問題番号 [No.53]から[No.64]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。

[No. 56] 電気工事に使用する機材のうち、電気用品に該当するものとして、「電気用品安全法」上、定められていないものはどれか。

ただし、機材は、防爆型のもの及び油入型のものを除く。

1. 600 V 架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル(CVT 100 mm²)
2. 幅 400 mm のケーブルラック
3. 定格 AC 300 V 15 A のタンブラースイッチ
4. 定格 AC 125 V 15 A のライティングダクト

[No. 57] 一般用電気工作物において、電気工事士でなくても従事できる作業又は工事として、「電気工事士法」上、正しいものはどれか。

1. 電線管を曲げる作業
2. 電線を金属ダクトに収める作業
3. 地中電線用の管を設置する工事
4. 埋込型コンセントに電線をねじ止めする工事

[No. 58] 登録電気工事業者が掲げなければならない標識に記載すべき事項として、「電気工事業者の業務の適正化に関する法律」上、誤っているものはどれか。

1. 登録の年月日及び登録番号
2. 氏名又は名称及び法人にあっては、その代表者の氏名
3. 営業所の業務に係る電気工事の種類
4. 営業所の所在地

※ 問題番号 [No.53]から[No.64]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。

[No. 59] 建築物に設ける建築設備として、「建築基準法」上、定められていないものはどれか。

1. 電気設備
2. ガス設備
3. 避難はしご
4. 避雷針

[No. 60] 消防の用に供する設備のうち、消火設備として、「消防法」上、定められていないものはどれか。

1. 消火器
2. 消防用水
3. 屋内消火栓設備
4. 不活性ガス消火設備

[No. 61] 建設業における安全衛生推進者に関する記述として、「労働安全衛生法」上、誤っているものはどれか。

1. 事業者は、常時10人以上50人未満の労働者を使用する事業場において、安全衛生推進者を選任しなければならない。
2. 事業者は、選任すべき事由が発生した日から14日以内に、安全衛生推進者を選任しなければならない。
3. 安全衛生推進者は、選任された事業場において、労働者の危険、健康障害を防止するための措置に関することの業務を担当する。
4. 安全衛生推進者は、選任された事業場において、医学に関する専門的知識を必要とするもので、労働者の健康教育、健康相談、健康の保持増進を図るための措置に関することの業務を担当する。

※ 問題番号 [No.53]から[No.64]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。

[No. 62] 移動式クレーンの運転業務に関する次の記述において、 に当てはまる語句の組合せとして、「労働安全衛生法」上、正しいものはどれか。

「事業者は、つり上げ荷重が1t以上の移動式クレーンの運転の業務(道路上を走行させる運転を除く。)については、移動式クレーン ア を受けた者でなければ、当該業務に就かせてはならない。ただし、つり上げ荷重が1t以上5t未満の移動式クレーンの運転業務については、小型移動式クレーン運転 イ を修了した者を当該業務に就かせることができる。」

- | | ア | イ |
|----|--------|------|
| 1. | 施工技術検定 | 特別教育 |
| 2. | 施工技術検定 | 技能講習 |
| 3. | 運転士免許 | 特別教育 |
| 4. | 運転士免許 | 技能講習 |

[No. 63] 労働時間、休憩時間に関する次の記述において、 に当てはまる語句の組合せとして、「労働基準法」上、正しいものはどれか。

「使用者は、労働時間が ア を超える場合においては少なくとも イ の休憩時間を労働時間の途中に与えなければならない。」

- | | ア | イ |
|----|-----|-----|
| 1. | 6時間 | 30分 |
| 2. | 6時間 | 45分 |
| 3. | 8時間 | 30分 |
| 4. | 8時間 | 45分 |

※ 問題番号 [No.53]から[No.64]までは、12問題のうちから8問題を選択し、解答してください。

[No. 64] 次の設備のうち、消費されるエネルギー量を評価される建築設備として、「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」上、定められていないものはどれか。

1. 空気調和設備
2. 照明設備
3. 給湯設備
4. 非常用自家発電設備

